



# 令和4年度 秋田県総合教育センター 総合教育センターだより

第191号  
令和5年2月21日発行  
〒010-0101 潟上市天王字追分西29-76  
TEL 018-873-7200 (代表)  
https://www.akita-c.ed.jp/

## 第37回秋田県教育研究発表会

令和5年2月2日（木）、第37回秋田県教育研究発表会が当センターで開催されました。この会は本県教育の振興を目的として県教育委員会と当センターが実施しているもので、県内の学校や教育機関等から教育研究の成果が発表され、県内外に情報発信する場となっています。

3年ぶりの集合型開催となった今回は、「郷土あきたの教育への提案」の発表コンセプトの下、参加者の熱意あふれる発表や協議が行われました。



県内外から約200名が参加

### センター研究発表

#### センター研究 共通テーマ

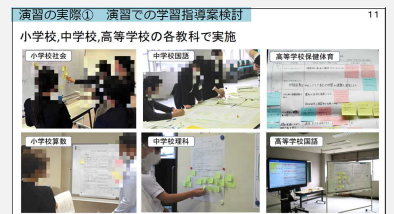
#### 「令和の新時代における秋田の教育」

当センターでは、本県教育課題の解決に向けて、「研修」・「研究」・「支援」の各機能を生かした三つの研究を行っています。



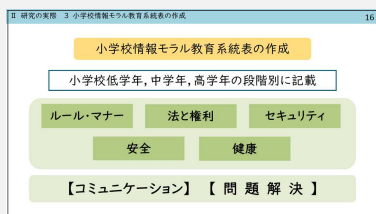
#### 個別最適な学びと協働的な学びの 一体的な充実による授業改善

各教科等における資質・能力の確実な育成に向けた、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の視点による授業改善についての研究です。1年次は、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の視点から学習指導案を検討した研修講座での様子を中心に発表しました。



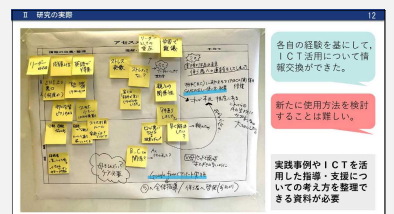
#### 情報モラル教育の充実に向けた 指導プランの提案

情報社会を生き抜くための資質・能力を身に付けるため、短時間で継続的に取り組むことができる情報モラル教育に関する指導プランについての研究です。1年次は、アンケート調査による実態把握とその分析、情報モラル学習活動例等について発表しました。



#### 特別な支援を必要とする児童生徒のための ICTを活用した指導・支援の工夫

特別な支援が必要な児童生徒のため、教職員がICTを活用して指導・支援を行う方法についての研究です。1年次は、研修講座で実施したアンケート調査や、講座内での協議・演習を基にまとめた、指導・支援におけるICTの活用事例について発表しました。



#### 参加者の声

- ★タブレットを用いた様々な実践を知ることができて大変勉強になった。
- ★どれもタイムリーな研究テーマ設定で、成果物（系統表、手引き、クイズ等）は、教員の負担軽減につながるものだと感じた。
- ★来年度の取組に生かせることをたくさん学んだ。内容を学校の先生方に伝え、取り組んでいきたい。

**講****演****演題** 子どもを主語にする学校をめざして～学習指導要領と令和答申から～**講師** 独立行政法人教職員支援機構理事長  
中央教育審議会初等中等教育分科会長 **荒瀬 克己氏**

中央教育審議会の中心となって答申作成に関わってこられた立場から、これからの教育の在り方へのメッセージとともに、「令和の日本型学校教育」について分かりやすく御講演いただきました。

**参加者の声**

- ★令和の日本型学校教育について、それぞれのキーワードがしっかり自分の中で整理された。
- ★自立した学習者を、教師、生徒が体現できるよう自校での研修に生かしていきたい。
- ★子どもを主語とする学校は、教師のチーム力が大切であると学ぶことができた。

**回 頭 発 表**

口頭発表は、全校種の教職員等による専門分野の実践報告や研修成果の発表を通して、より質の高い教育を探求する場となっています。今年度は、センター内の6会場で、各学校や県・市教育委員会等から計23件の発表が行われました。発表後の交流では、実践を基にして意見交換をし、学校運営、キャリア教育等に対する考えを深め合うことができました。

**参加者の声**

- ★これまで知らなかった様々な取組について知ることができ、とてもよい刺激になった。
- ★秋田県内の先生方の取組を知り勉強になった。がんばる姿に勇気付けてもらった。
- ★今後自分が更に取り組みたいことが見つかり、目標へ向けて取り組む意欲が湧いた。
- ★発表者として参加したことで、他の先生方の取組を自分のこととして捉えることができた。教師としてもっと力を付けたいと思える一日となった。

**センター初任者研修講座終了**

一年間の研修お疲れ様でした

小学校、中学校は1月11日（水）、高等学校は1月25日（水）、特別支援学校は1月26日（木）に、初任者研修講座の最終期をオンラインにより実施しました。受講者の振り返りからは、研修で学んだことを今後の授業づくりや生徒指導等に生かしていきたいという意欲が伝わってきました。

**振り返り票から**

- ・初任者研修を通して、目標を明確にもちながら主体的に研修に取り組むことができた。特に教科等の指導では、授業の中で何気なく行っていた自分の行動を見直し、指導の意図や活動の意味を意識できるようになった。この一年間で学んだことは自分にとって大きな財産である。【小学校】
- ・多くの研修から生徒指導や授業力向上のためのヒントをたくさん得ることができた。特に生徒指導では、休み時間も積極的に生徒と関わったり、不登校傾向の生徒に、保護者や他の教員と連携して対応したりした。キャリアアップシートで年度当初と比べると生徒指導力の向上が顕著に表れ、自信になった。【中学校】
- ・4月の頃は教科等指導力の向上を中心に考えており、その他の項目についての意識は低かったが、一年間の研修で全体をしっかりと理解できたと感じる。特に、生徒指導の大切さに気付くことができたので、来年度は生徒指導力を重点的に伸ばしていきたい。【高等学校】
- ・授業に関する研修では、実践やアイデア、改善点等について他の先生方と話し合い、非常に勉強になった。他の研修でも協議を通して学びが深まり、チームで考えることの重要性を強く実感した。今後も初任者研修で学んだことを意識して、子どもたちのために専門性を高めていきたい。【特別支援学校】